

「でんきが築く豊かな未来」

秋田県立横手清陵学院高等学校 2年 平沢 光真

2011年3月11日の東日本大震災で、数日間、多くの家庭が停電になり、私は、電気が私たちの生活になくてはならないことを実感しました。その後、「電気技術者になって誰かのためになりたい」と思い高校の工業科に入学しました。

今私は、ものづくりのボランティア活動に取り組んでいます。電子工作教室で小学生と一緒に電子回路を作って電気のおもしろさを伝えることや、「エコライフフェスタ」などの地域行事で、私たちが考えた省エネ技術を地域の人々に紹介しています。

私が、電子工作教室に参加したときのことです。小学生と一緒に電子回路を作るのですが、最初私は、「しっかり作り方を伝えることができるのだろうか」と不安でいっぱいでした。しかし、作品ができたときの小学生のとてうれしそうな顔を見て、私は達成感に満ちあふれました。私は、誰かの役に立つことが、こんなにも気持ちのよいこととは知りませんでした。その震災で、電気の復旧のためにがんばってくれた人達も、こんな気持ちになったのかとふと考えました。

私は、電気を使った画期的商品の開発だけが、豊かな未来を築くとは思いません。電気を通して、みんなを笑顔にすることが豊かな未来を築くための近道だと思います。私は、ものづくり教室を通じて、人の役に立つうれしさや、達成感を知りました。私も自分の目標である、誰かのためになる仕事につけるように、ボランティア活動や、電気について勉強し、地域や日本中、世界中の人々に笑顔を届けられるようにがんばりたいです。こんな思いが「でんきが築く豊かな未来」に少しでも繋がればいいなと思います。